

たなか やすお
● 田中 康夫

衆議院議員(兵庫県第8区選出)
新党日本代表 作家



地元・御園町の皆さんと一緒に

昭和31年(1956年)東京都武蔵野市生まれ。信州大学教授だった父親、母親、妹、大阪の道修町で生まれ育った祖母と共に、小学2年から高校卒業まで長野県で過ごす。県立松本深志高等学校卒業。

1浪の後、一橋大学法学部入学。在学中に処女作「なんとなく、クリスタル」で昭和55年度文藝賞受賞。選考委員の江藤淳、野間宏の両氏から激賞され、100万部を超えるベストセラーに。同年下半期の芥川賞候補。

TV「笑っていいとも!」「新伍のお待ちどおさま」「OH!エルくらぶ」「平成教育委員会」、ラジオ「さてはトコト菊丸丸」「アクセス」等にレギュラー出演。

阪神・淡路大震災発生4日後から50ccバイクに跨がり、ボランティア活動を2年近く継続。98年「神戸空港・住民投票の会」代表世話人。

2000年～06年 長野県知事。全国ワースト2位だった県財政を、全国47都道府県で唯一、6年連続

で借金=起債残高を減少させ、基礎的財政収支=プライマリーバランスも7年度連続で黒字化を達成。

入札制度改革、外郭団体統廃合等で生まれた原資を用い、小学校30人学級を全国で最初に全学年で実施。高齢者・障害者の福祉を充実させ、護岸補修や森林整備等の地域密着型公共事業の導入で地元雇用を創出。

07年～09年参議院議員。09年8月の総選挙で兵庫県第8区=尼崎市から衆議院議員に当選。

当初、民主党との会派に所属。政策面での違いが顕在化し、国民新党と2010年6月、与党統一会派「国民新党・新党日本」を結成。

今年3月、理念無き消費増税に反対する亀井静香代表、亀井亜紀子政調会長が党内クーデターで解任されたのに伴い、院内会派を解消。現在に至る。妻の恵、トイプードルのロッタと共に、尼崎市御園町在住。

【レギュラー出演番組】

●BS11「田中康夫のっぽんサイコー!」
毎月第2日曜日18:00～18:55
過去放送分は新党日本ホームページで
ご覧になれます
<http://www.nippon-dream.com/>

【主な著書】

小説
「なんとなく、クリスタル」
「プリリアントな午後」
「昔みたい」
「オン・ハピネス」等多数
政治評論 「日本を」

社会評論

「ファディッシュ考現学」
「神なき国のガリバー」
「神戸震災日記」等多数
訳著
「ムーンウォーク」
マイケル・ジャクソン自伝

【連載原稿】

「にっぽん改国」「日刊ゲンダイ」毎週水曜発売分
「その物語」、の物語」「週刊SPA!」連載
「憂国呆談」浅田彰・京都造形芸術大学大学院長
との連載対談 月刊誌「ソコト」
「It's 小タイム」共同通信「Kyodo Weekly」

アドレス ▶ tanaka@nippon-dream.com ツイッター ▶ <https://twitter.com/#!/loveyassy>

本会議での代表質問や月刊「文藝春秋」への寄稿等を冊子にしました。田中康夫の発言や活動が、より詳しくご覧になれます。ご希望の方は、同封のFAXシートをお送り下さい。

● 新党日本ヘッド オフィスへのアクセス



新党日本 HEAD OFFICE

東京都千代田区平河町1-7-11
TEL:03-5213-0333 FAX:03-5213-0888

● 尼崎支部へのアクセス



新党日本 尼崎OFFICE

兵庫県尼崎市神田中通4-89
TEL:06-6415-0330 FAX:06-6415-0331

- 新党日本HP ▶ <http://www.nippon-dream.com>
- 携帯電話から ▶ <http://www.nippon-dream.com/#tail>
- 田中康夫へのメール ▶ tanaka@nippon-dream.com
- 田中康夫ツイッター ▶ <https://twitter.com/#!/loveyassy>



尼崎のために。
日本のために。

私は 守るべき人を間違えない。



衆議院議員
兵庫県第8区(尼崎市)選出

新党日本代表
田中 康夫

さあ、信じられる日本へ。

新党 日本
nippon-dream.com



● 尼崎のために。日本のために。

人情味と正義感の街・尼崎の一員となって4年目を迎えました。

尼崎中央商店街4番街に事務所を設け、3番街のペットショップで巡り合ったトイプードルの愛犬ロッタ、妻の恵と一緒に阪神尼崎駅前のマンションで“3人”暮らしです。本日は、この3年間の活動の記録を、お届けします。

「尼崎のために。日本のために。」を合い言葉に、活動を続けています。国道43号線の東本町に続いて、五合橋・出屋敷の両交差点へのエレベーター設置。懸案の大阪府側への山手幹線の延伸。猪名川・藻川の堤防補強。この2年余り、関係機関と交渉を重ね、具体的な着手のメドが見えてきました。

国政でも、衆議院本会議の代表質問に5回登壇。予算委員会では計19回の質疑を行い、「東京電力福島原子力発電所事故に係る両議院の議院運営委員会」(国会事故調)の合同協議会でも初回到意見表明を行いました。

“老保一元化”の発想で、商店街や住宅地の空き家を改修し、お年寄りのデイサービスと就学前の乳幼児保育を一つ屋根の下で行う「宅幼老所」の開設。

地域の間伐材を活用して、鋼鉄製と同じ安全強度認定を受けた“環境に優しい”木製ガードレールの設置。

長野県知事時代に県の独自予算で実行した、これら2事業も昨年、国としての予算化が初めて実現。今年は更に箇所も予算も倍増です。

● 私は 守るべき人を間違えない。

「大増税・TPP・放射能」。私たちの仕事と生活を直撃する、いずれも深刻な問題です。

「3・11」以降の日本は以前にも増して、「霞ヶ関」に象徴される古めかしい既得権益集団の都合に左右され、「強きを助け・弱きを挫く」嘆かわしい政治状況に陥っています。

古今東西、増税で景気浮揚した国家は、どこにも存在しません。TPPは、日本が誇る国民皆保険制度やモノ作り産業に甚大な影響を与える“平成の壊国”です。

今こそ固定観念を打破し、日本を富ませ・国民を豊かにする“富国裕民”の「新しい方程式」を打ち立てねばなりません。

人間の五官が察知し得ない無色・透明・無臭な放射能の更なる被害を防ぐ上でも、日本の研

究者が発見した「石油を作る藻＝オーランチオキトリウム」の実用化に向け国家的支援を行うべき、と震災直後の予算委員会で提言したのも、こうした思いからです。

田中康夫と新党日本は、人間の体温が感じられる一億総中流社会を創り上げるべく、「発想を変え・選択を変え・仕組を変えよう」と提言し、行動してきました。

これまでも、そして、これからも、人情味と正義感の街・尼崎を愛する皆さんと共に、“長いものに巻かれる気概”を抱いて、奮闘します。

ご意見、ご質問、ご要望を含め、お気付きの点は、どうぞ遠慮なくお申し付け下さい。

田中康夫



「尼崎のために。」

1 国道43号線にエレベーター設置!

大阪高裁の勧告で11年前、「尼崎大気汚染公害訴訟」は和解に至ったものの、その具体的な合意内容に関し、原告団側の要望と国側の提案には隔たりが大きく、膠着状態が続いていました。

この2年余り、弁護団を含む原告団の方々とも私も対話を重ね、国土交通省の担当部局と現地調査も行き、国道43号線での大型車通行を中央分離帯側の1車線に誘導する新しい方針を大筋で受け入れて頂く形となりました。

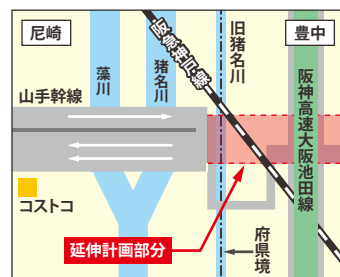
今年には国道43号線の五合橋交差点、出屋敷交差点の歩道橋にエレベーターが新設されます。既に昨年秋、東側の

歩道橋にエレベーターが設置済みの東本町交差点では7月上旬、西側にも増設が完了。

8月には神戸地裁で、周辺住民に対するアスベスト公害の企業責任を我が国で初めて認める「クボタショック」判決が言い渡されました。この問題にも原告団の方々と一緒に取り組んでいます。



2 山手幹線を豊中市側へと延伸させます!



懸案だった山手幹線の大阪府側への延伸計画が動き出しました。

都市計画道路として一昨年10月、神戸市長田区から尼崎市まで兵庫県下の29.5kmが全通した山手幹線は現在、豊中市との境の旧猪名川で行き止まりです。

住宅が密集する豊中市側では、生活道路を通過する車両の急増が、社会問題化しています。その改善に向けて私も

国土交通省道路局と打ち合わせを重ね、昨年夏には大阪府、兵庫県、豊中市、尼崎市、国交省近畿地方整備局の担当責任者が一堂に会して定期協議する「山手幹線連絡調整会議」が新たに設けられました。

将来的には阪急電車神戸線を園田地区と同じく高架化し、阪神高速11号池田線が上部を走る豊中市の庄本交差点まで山手幹線を延伸する計画が検討されています。

まずは地域住民の皆さんの意向を踏まえ、生活道路へのガードレール設置等で安全度を高め、道路改良を進めていく予定です。

3 「鋼矢板を用いた堤防補強」の実現を!

日本の堤防は土と砂だけの土堤です。コンクリート壁の隙間から水が浸み込み、内部は液状化現象を起こしがち。大雨で壁面が崩れると、一気に堤防全体が破堤してしまう原因となっています。

こうした事態を防ごうと欧米諸国では、過去に決壊した場所には、堤防の両肩から基礎まで、鋼矢板を縦に2枚打ち込む強化策を導入しています。

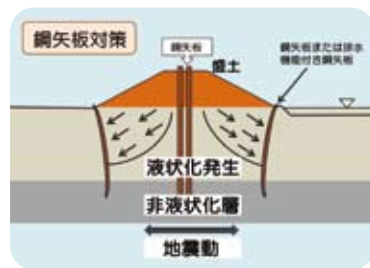
2001年に「『脱ダム』宣言」を発した後、鋼矢板を用いた治水対策の実施を国に求めてきました。膨大な費用と歳月を要するダム建設やスーパー堤防と異なり、地域を分断する家屋移転を伴わず、地元の土木建設業者が担当可能な地域密着型公共事業です。

けれども国は、堤防内に土と砂以外の“不純物”が混じる

のは認められない、と難色を示してきました。国会議員になった後も求め続け、初めて昨年、鋼矢板を用いた治水に関する調査費が予算計上されました。今年には実現に向けて実証実験を行います。

藻川と猪名川に挟まれた中州に暮らす園田地区の方々も昨年末、国土交通大臣に面会し、鋼矢板を用いた堤防補強の実施を求める5641筆の署名簿を手渡しました。

日本の治水を「土堤原則」から大転換すべく、皆さんと一緒に踏ん張ります。



※国会質疑の映像・議事録、各種の連載原稿は <http://www.nippon-dream.com/> でご覧になれます。

4 「宅幼老所」で「老保一元化」の福祉を実現!



温もりが感じられる福祉を実現したい。

こうした夢を抱き、知事時代に県独自の補助事業として「宅幼老所」を長野県内に300カ所以上、開設しました。

駅前商店街の空き店舗、住宅地の空き家を改修して、お年寄りとお孫さん、小さなお子さんを、自宅感覚の“ひとつ屋根”の下でお世話する、

保育士の資格を持ったスタッフを、高齢者のデイサービスに配置して、お年寄りとお孫さん世代の乳幼児と一緒に昼ご飯を食べ、一緒にお昼寝をする空間が宅幼老所です。お互いの元気の素を分かち合えます。

幼保一元化の前に老保一元化を、と国会議員として厚生労働省に提案し続け、国も補助制度を昨年半ばに創設。尼崎でも塚口町6目目に、温もりを感じさせる宅幼老所「あゆみの家」が誕生しました。

皆さんの周囲でも開設を希望される方がおられましたら、ご一報下さい。実現に向けて、お手伝いします。

5 更生保護サポートセンターが充実しました!

犯罪・非行を犯した人の社会復帰を手助けする保護司は、実に尊い存在です。

県知事時代、無給で活動し続ける保護司の皆さんから、ガラス張り知事室で実情を伺い、県内各地へ視察や会議で出掛けた帰路、人生に再挑戦する若者を雇用して下さる職場へ、マスコミを同行させることなく、密かに1人で訪れました。

尼崎でも202名の保護司の方々、お忙しい仕事のかたわら、尽力下さっています。

更生者の相談を受ける静かな空間を確保したい。そうした尼崎の保護司の方々の熱意に応えようと、法務省保護局と折衝を重ねたところ、活動実績も評価されて今春、更生保護サポートセンターの設置指定を受けました。

6 「ブックスタート」こそ「子育て支援都市AMA宣言」の第一歩!

0歳児に絵本をプレゼントして読み聞かせするブックスタートは、イギリスで始まりました。

尼崎でも実現しようと、白井文前市長と稲村和美現市長に働き掛け、JR立花駅前のすこやかプラザを拠点に、オリジナル絵本「とんとんとん」を新生児に届ける事業が昨年からは始まりました。

スタッフやボランティアの方が情感を込めて語り掛けると、言葉は判らなくとも赤ちゃんは“第六感”で反応し、さまざまな喜怒哀楽の表情を見せてくれます。

尼崎の新生児は年間4300人前後。その全員に絵本を差し上げる費用は300万円。一般会計予算1900億円の僅か6万分の1の金額で、子育て世代だけでなく読み聞かせボランティアの方々にも、確かな喜びを提供してくれます。

豊富な緑地や公園、充実した医療機関、待機児童の少なさで近年、高い評価を受ける尼崎は、梅田へも電車で10分弱。新大阪駅にも伊丹空港にも近い、子育て世代に人気の、便利で健康的な街へと着実にイメージ転換を果たしつつあります。



人情味と正義感にあふれる尼崎の新たな強みを、皆と一緒に活かして参りましょう。

※本会議での代表質問や月刊「文藝春秋」への寄稿等をまとめた冊子も出来上がりました。ご希望の方は同封のFAXシートをお送り下さい。

「日本のために。」

● 木製ガードレールで地域雇用を創出

木製ガードレール設置を促進する「木の香る道づくり事業」が昨年から全国でスタートしました。

知事時代に信州で考案・実現した、鋼鉄製と同じ強度認定を受けた木製ガードレールは、間伐・製造から設置に至る全ての工程を地域の土木建設業者が担当可能。

鋼鉄製に比べ、1km当たり5倍の雇用を地元で創出します。国政へと転じてから、国レベルでの予算化を求めてきました。

兵庫県内でも今年度は淡路島で敷設されます。今後は川崎、尼崎

を始めとする公害を克服した都市部でも整備を進める、と衆議院国土交通委員会で道路局長が答弁。地域密着型の新しい公共事業として大いに期待されている木製ガードレールです。



● 休眠口座は国民の共有財産

「休眠口座」の社会的活用が2014年度から始まります。お金の出入れが10年以上行われず、預貯金主と連絡が付かない口座の残高は現在、金融機関の収益として日本では計上されています。法律の規定ではなく、全国銀行協会の内規に基づき、毎年1000億円近い金額に達しています。

休眠口座の預貯金は国民の共有財産と捉えるイギリスでは、「ビッグ・ソサエティ・バンク」構想が実現しました。女性の社会進出

や障害者の就労を支援するNPOを始めとする非営利団体に無担保・低利子で融資する原資として活用されています。

同様の取り組みを日本でも、と参議院議員時代から金融庁と交渉を重ね、衆議院本会議や予算委員会でも計7回、質疑を行い、この7月に公的活用が正式決定しました。

管理・運用する新たな機関が官僚の天下り先と化さぬよう、引き続き、監視を続けて参ります。

● 被災地支援 継続中



「3・11」当日、人工股関節の手術で県立尼崎病院に入院中でした。

官邸・県庁・東電から何の連絡もなく、一週間近く「棄民」状態に留め置かれていた南相馬の桜井勝延市長は、県知事時代からの友人。彼に官邸の直通電話をメールで伝え、医師の了解を得て退院を早め、一週間後に松葉杖を片手に新党日本のスタッフと被災地入りしました。

東京の大手町や表参道の街角でエスニック風味の弁当を販売

するアジアランチと連携し、避難所にランチカーを横付け。都合6種類の料理から2種類を選択頂き、ベトナムの米麺フォーが入った丼に盛り付けた温かい料理を差し上げました。

被災地でも人間は、お仕着せの支援でなく、自分で料理を選び、味わい、喜びを分かち合う瞬間が大切と感じたからです。

現在も月に1度、南相馬市の仮設住宅を整体師の方々と回る活動を継続中です。体をほぐして頂きながら、心の中の想いを問わず語り吐き出して頂く。しがらみとは無縁の、よそ者が訪れるからこそ、語って下さるのだと思います。

一人ひとりが、出来る事を、出来る時に、出来る所で、出来る限り。より良き日本を取り戻すべく奮闘し続けます。

● 首相官邸前の白い風船

毎週金曜夕刻、首相官邸前や国会正門前に、警察発表でも常時2万人を超える人々が集う「原発再稼働反対抗議集会」。

子供連れの母親、歩行杖を持った老夫婦、仕事帰りのサラリーマン&OL。労働組合や各種団体の旗を掲げた旧来型の動員デモとは異なり、自分の意思で国民一人ひとりが集う、日本で初めての新しいムーブメントです。

「3・11」以降の誰も責任を取らず、一向に機能しない間接民主主義を正すべく、僕も1人の国民として参加しています。

政治や行政、司法の腐敗に抗議して96年にベルギーのブリュッセルで、30万人の国民が白い風船を片手に家族連れで集った「純白の行進」にヒントを得て、非暴力・不服従を象徴する白い風船を、ボランティアの皆さんと共に毎回数千個、参加者に手渡ししています。

家族や隣人を、そして郷土を愛する一人ひとりの純粋な心根こそ、「信じられる日本」を再興する上での原動力。右頁の写真は、白い風船を手にした友人の勝谷誠彦さんとの1枚です。



皆さんの質問にお答えします!

Q & A

Q1 お住まいは？

阪神尼崎駅の南側、御園町のマンションです。

札幌育ちで日本航空の客室乗務員として20年余り勤務した10歳年下の妻の恵、尼崎中央商店街のペットショップで出会った愛犬ロッタと“3人”暮らし。

朝6時前にはトイプードルの“娘”と散歩しているのにお目に掛かるかも。駅西側ガード下のテッチャン鍋やすもりは、妻との行き付けです。

Q2 事務所の場所は？

尼崎中央商店街です。阪神尼崎駅からアーケードを三和本通りへ向かい、中程の4番街右側。1階はブティック・マギー。

2階の窓から等身大の着ぐるみヤッシーが手を振っています。年中無休。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。国会質疑や雑誌連載等の資料を差し上げます。

Q3 勝谷誠彦さんとは長い付き合いですか？

七松町の勝谷医院の“カッチャン”とは、編集者として文藝春秋社に彼が勤務していた頃からの知り合い。

知事時代には、ソムリエの田崎真也氏らと共に、日本初のワイン、日本酒、焼酎等の品質認定制度・長野県原産地呼称管理制度の委員を務めて頂きました。



無為無策な日本の政治や経済、社会を変えるべく、日々、メールや電話で連絡を取っています。

首相官邸前で一緒に白い風船を

Q4 新党日本について教えてください

長野県知事退任の翌年に立候補・当選した07年参議院議員選挙の全国比例代表で、新党日本は有効投票総数の3%を超える177万票を獲得。公職選挙法、政治資金規正法、政党助成法が規定する政党要件を満たす公党です。

大阪、神戸、京都、名古屋を始め複数の政令指定都市では社民党よりも多い票数を得ています。

松下政経塾出身の野田佳彦さんや前原誠司さんが初当選した90年代前半の日本新党とは、もちろん無関係です。

Q5 「カモシカ・ヤッシー」の秘密!

ヤッシーは、深夜TV番組「タモリ倶楽部」に登場するソラミストの安齋肇さんが、長野県の県獣カモシカを描いた独自キャラクターです。

その絵柄を元に、身体の不自由な1人の女性が幾度となく、お子さんと一緒にガラス張り知事室へ届けて下さったフェルト製の手作りブローチ。その裏側には「しなやか」「まけるな」といった文字が刺繍されていました。

大きな組織の意向に左右される知事でなく、真っ当に働き・学び・暮らす一人ひとりの住民・国民に奉仕する自分でありたい。信州でスーツの襟元に付けていたのは、そうした思いからです。

等身大の着ぐるみヤッシーは、今も尼崎事務所の2階で皆さんのお越しをお待ちしています。街でお目に掛かった際に差し上げている名刺の裏側にも、ヤッシー・シールが付いています。ピンクとグリーンの種類。好きな所に貼ってね。



●本会議での代表質問や月刊「文藝春秋」への寄稿等を冊子にしました。
田中康夫の発言や活動が、より詳しくご覧になれます。
ご希望の方は、このFAXシートをお送り下さい。

●国会質疑日程や番組出演情報を始めとするお知らせをご希望の方も、
このFAXシートをお送り下さい。

尼崎市民以外の方も、どうぞご遠慮なく!

代表質問や寄稿をまとめた冊子の 送付を希望します(何れかを○で囲んで下さい)	冊子を送って下さい	冊子を届けて下さい		
国会質疑日程や番組出演情報を始めとする お知らせを今後、希望します(何れかを○で囲んで下さい)	FAX	メール	FAX&メール	郵便受取

<http://www.nippon-dream.com/amagasaki>のフォームからも、お送り頂けます。

(ふりがな) お名前	性別	男	女
	年齢	歳	
〒 ー			
ご住所			
電話番号			
FAX			
携帯電話			
PCメール			
携帯メール			
【ご意見・ご質問・ご要望】			

※新党日本は、みなさまの個人情報を適切に管理し、第三者に提供することはありません。

FAX:06-6415-0331